平成 27 年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」（以下新制度という）に伴い、特定教育・保育施設（保育所・認定こども園・新制度移行幼稚園等）を利用される場合には下記の認定が必要になります。

1号認定（教育認定）
利用先：認定こども園・新制度移行幼稚園
満3歳以上の就学前の子どもで教育を希望される方
（新制度に移行しない幼稚園については認定の必要はありません。）

2号認定（保育認定）
利用先：保育所・認定こども園
満3歳以上の就学前の子どもで保育を必要とされる方（※）

3号認定（保育認定）
利用先：保育所・認定こども園等
満3歳未満で保育を必要とされる方（※）

（※）保育の必要な事由
保育認定を受けるには、保護者が就労や妊娠・出産、疾病、同居親族の介護等により家庭で保育することができない事由が必要です。また、保育の必要な事由や状態により、保育標準時間認定と保育短時間認定に区分されます。

子ども・子育て支援新制度の詳しい内容について
内閣府子ども・子育て支援新制度ホームページをご参照ください。

お問い合わせ先
末吉　介護福祉課　☎ 0986-76-8807
財部　福祉事務所　☎ 0986-72-0936
大隅　保健福祉課　☎ 099-482-5925

広告

JAバンク

ウィンターキャンペーン

キャンペーン期間　平成28年11月1日（火）～平成28年12月30日（金）

【定期貯金「貯王」】

★貯金の種類　スーパー定期1年もの（自動継続）
★お預け入れ金額　20万円以上
★金利　年 0.10％（税引後 0.0790％）組合員の方
年 0.05％（税引後 00.039％）員外の方
※上記の金利は初回満期までとします。
★取扱い対象　個人の方で新規にお預け入れの方に限ります。

期間中にW懸賞付定期貯金「貯王」を新規で20万円以上ご成約の方に嬉しいWチャンス!!

チャンスその1
「ちょリスマルチ通帳ケース」抽選で県下 4,000 名様にプレゼント!!

チャンスその2
「鹿児島県畜産物セット」を抽選で県下 1,000 名様に!!

詳しくは、お近くのＪＡ各支所の貯金窓口までお問合せください。

ＪＡそお鹿児島
本　所　099-482-6812　大隅支所　099-482-6811
財部支所　0986-72-3114　末吉支所　0986-76-7702

市営住宅 入居者募集のお知らせ

市では、市営住宅の入居者を随時募集しています

末吉地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
光神第２団地	木造平屋	３ＤＫ	１万２７００円～	１戸
岩北団地	木造平屋	３ＤＫ	１万５４００円～	１戸
高岡第３団地	木造平屋	３ＤＫ	１万２９００円～	１戸
仮屋団地	木造平屋	４ＤＫ	３万６８００円	１戸

※仮屋団地は特定公共賃貸住宅です。入居資格の収入月額は２５万９０００円以下です。

大隅地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
天神丘団地①	中層耐火（３・４階建）	３ＤＫ	１万６３００円～	14戸
天神丘団地②	中層耐火（３階建）	１ＬＤＫ（高齢者単身向け・1階）	１万３４００円～	３戸
天神丘団地③	中層耐火（３階建）	１ＬＤＫ（若年者単身向け・2階）	１万３９００円～	３戸
中野団地①	簡易耐火（２階建）	３ＤＫ	１万４０００円～	２戸
中野団地②	低層耐火（２階建）	３ＤＫ	１万６５００円～	１戸
菅牟田団地	簡易耐火（２階建）	３ＤＫ	１万３１００円～	４戸
笠木第４団地	簡易耐火（２階建）	３ＤＫ	１万２２００円～	１戸
中坂元団地	木造平屋	３ＤＫ	１万１８００円～	３戸
吉村迫団地	木造平屋	３ＤＫ	１万２１００円～	２戸
坂元団地	木造平屋	３ＤＫ	１万１９００円～	１戸
南団地	木造平屋	３ＤＫ	１万５３００円～	１戸

財部地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
南方神社団地	木造平屋	３ＤＫ	１万２５００円～	１戸

入居資格

①現に同居し、または同居しようとする親族がいること。
※単身での入居には別途条件があります。
②収入月額が15万8千円以下であること。
③住宅に困窮していることが明らかであること。
④持ち家がないこと。
⑤市税に滞納がないこと。
⑥入居しようとする親族全員が暴力団員でないこと。

その他

▽市営住宅の家賃は所得に応じて決定します。
▽敷金は家賃の３カ月分です。
▽連帯保証人が２名必要です。
▽ペットを飼育することはできません。
▽退去時に、畳と襖の交換が必要です。

入居者の選定

随時募集については先着順で、各住宅の募集戸数に達するまで受付を行います。

受付期間

随時

お問い合わせ先

末吉地区	本庁 建設課	☎ 0986-76-8811
財部地区	財部支所 建設水道課	☎ 0986-72-0941
大隅地区	大隅支所 建設水道課	☎ 099-482-5953

税を考える週間　入賞者決定

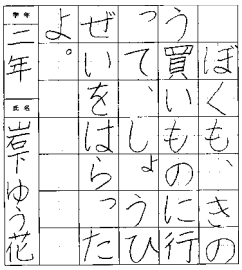
市では、平成28年度「税を考える週間」（11月11日～17日）に伴う硬筆・書道・標語展の作品を募集し、入賞者が決定しました。

この取り組みは、税の意義や役割を正しく認識してもらい、税に対する関心を深めてもらうため、市内の小学校、中学校の児童・生徒および一般市民を対象に実施したものです。

今年度は硬筆の部に436点、書道の部に838点、標語の部に421点の応募がありました。

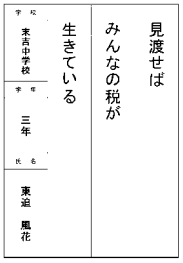
結果は次のとおりです。

曽於市長賞の作品



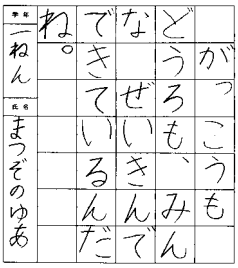
硬筆の部

書道の部

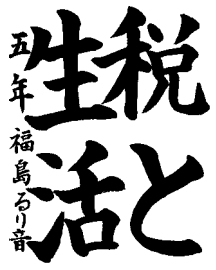


標語の部

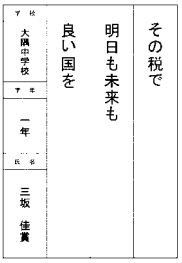
曽於市議会議長賞の作品



硬筆の部



書道の部



標語の部

曽於市長賞			
硬筆の部	岩下　優花	月野小学校	2年
書道の部	上之原　瑠音	柳迫小学校	6年
標語の部	東迫　風花	末吉中学校	3年
曽於市議会議長賞			
硬筆の部	松園　結愛	末吉小学校	1年
書道の部	福島　瑠音	柳迫小学校	5年
標語の部	三坂　佳賞	大隅中学校	1年
大隅税務署長賞			
硬筆の部	宅野　さとり	月野小学校	2年
書道の部	武安　愛佳	岩川小学校	6年
標語の部	佐多　茉生莉	末吉中学校	3年
大隅地域振興局長賞			
硬筆の部	永山　翼	末吉小学校	1年
書道の部	上之原　花音	柳迫小学校	4年
標語の部	西國原　羽楽	末吉中学校	3年
公益社団法人　曽於法人会長賞			
硬筆の部	馬方　悠七	恒吉小学校	1年
書道の部	東国原　結愛	柳迫小学校	3年
標語の部	黒木　敦仁	財部中学校	1年
曽於市副市長賞			
硬筆の部	谷川　真都	末吉小学校	1年
書道の部	澤田　智恵	橲小学校	4年
標語の部	吉田　蓮	末吉中学校	3年
曽於市教育長賞			
硬筆の部	向江村　毅聖	柳迫小学校	2年
書道の部	村山　千夏	末吉小学校	4年
標語の部	西薗　みなみ	末吉中学校	2年

曽於市税務課長賞			
硬筆の部	平田　愛優	諏訪小学校	2年
書道の部	古谷　百緒梨	岩川小学校	5年
標語の部	桐原　竜子	財部中学校	1年
入　選			
硬筆の部	前畑　早娃采	末吉小学校	2年
	大保　まい	末吉小学校	2年
	岡留　優	末吉小学校	1年
	山口　侑	岩川小学校	1年
書道の部	立山　晟	末吉小学校	6年
	有川　帆乃花	末吉小学校	6年
	藤田　姫乃	末吉小学校	6年
	石脇　芽依	末吉小学校	6年
	東国原　来夢	柳迫小学校	5年
	末廣　眞理那	末吉小学校	5年
	立元　悠斗	末吉小学校	5年
	加塩　瑛理	岩川小学校	4年
	持永　秀香	岩川小学校	4年
	竹内　愛結	財部小学校	3年
	満倉　湘大	柳迫小学校	3年
	大生　真桜	柳迫小学校	3年
標語の部	大岩根　黎二	財部中学校	1年
	福崎　圭	大隅中学校	2年
	山下　芳彦	大隅中学校	3年

お問い合わせ先　税務課・税務係　☎0986-76-8804

志布志支所・県 ホルスタイン共進会

県ホルスタイン共進会で優秀賞２席に輝いた南脇さん出品のズワルト ロツキー ダイナステイ号

志布志支所ホルスタイン共進会

10月14日、曽於中央家畜市場で開催されました。曽於市から18頭が出品されました。

志布志支所ホルスタイン共進会 曽於市出品者結果（敬称略）

第1部 10カ月以上～12カ月未満

3席 小浜 裕二 大隅町
6席 小薗 千弘 末吉町
7席 莚平 健一郎 財部町

第2部 12カ月以上～15カ月未満

5席 小薗 千弘 末吉町
6席 莚平 健一郎 財部町

第3部 15カ月以上～18カ月未満

1席 莚平 健一郎 財部町

第4部 18カ月以上～22カ月未満

1席 南脇 大輔 末吉町
2席 莚平 健一郎 財部町
4席 吉松 幸治 財部町
5席 小浜 裕二 大隅町

第5部 3歳未満

3席 溝口 剛 末吉町
4席 莚平 健一郎 財部町

第6部 3歳以上～4歳未満

4席 三枝 行則 末吉町
6席 溝口 剛 末吉町
7席 莚平 健一郎 財部町

第7部 4歳以上～5歳未満

2席 溝口 剛 末吉町
4席 莚平 健一郎 財部町

第8部 5歳以上

2席 莚平 健一郎 財部町

鹿児島県ホルスタイン共進会

10月29日、姶良中央家畜市場で開催されました。曽於市から2頭が出品されました。

鹿児島県ホルスタイン共進会 曽於市出品者結果（敬称略）

第3部 15カ月以上～18カ月未満 優良賞

莚平 健一郎 財部町

第4部 18カ月以上～22カ月未満 優秀賞

2席 南脇 大輔 末吉町

県ホルスタイン共進会で
優良賞の莚平さん出品の
MKF ビースター ブレット号

家畜の伝染病の農場への侵入を防ぐために

近年、中国や韓国等の近隣の国をはじめ、世界各地で高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の家畜の伝染病が発生しています。家畜の伝染病の農場への侵入・まん延を防ぐため飼養衛生管理基準を守り、防疫対策を徹底することが大切になります。

飼養衛生管理基準のチェックポイント

- ○ 最新情報の把握
- ○ 衛生管理区域の設定
- ○ 病原体の持込防止（立入制限や入口での消毒等）
- ○ 野生動物対策（防鳥ネット等の設置）
- ○ 衛生状態の確保（畜舎内の清掃・消毒等）
- ○ 家畜の健康管理と異状時の通報
- ○ 埋却の準備
- ○ 立入記録の作成・保管

立入禁止看板の設置

石灰の散布

車両の消毒

踏込消毒槽の設置

家畜伝染病から家畜を守るために，飼養衛生管理基準のチェックをお願いします。

※家畜・家きんの所有者は，飼養している頭羽数及び飼養衛生管理の状況について，毎年県への報告が義務づけられています。

お問い合わせ先
曽於家畜保健衛生所
TEL:099-487-2351

プールで運動始めよう!!

お問い合わせ先
曽於市民プール　☎ 0986-76-4340

曽於市民プールだより

今回のテーマは

「水圧でむくみ解消！」

今回は、水の効果の一つ、水圧のお話です。

水圧は、水深が深いほど高くなります。その為、水中歩行をすると、足が一番水圧がかかって、身体の上の方に行くほど圧力が低くなります。

このことにより、水中歩行をすると、血液循環が良くなります。

これは、冬場に流行する「着圧ソックス」を穿いたのと、同じような効果があります。水圧がふくらはぎの「筋肉ポンプ」の働きをサポートしてくれるため、下半身にむくみを起していた血液やリンパ液を心臓に送り返し、スッキリした脚になっていきます。

また、水圧を受けることで、「横隔膜」が押し上げられ、水中では自然と腹式呼吸になります。

陸上より深い呼吸で酸素をたっぷり体内に取り入れることができ、「ダイエット効果」がアップします。

さあ！水中歩行を始めて、スッキリした下半身を目指しましょう!!

平成28年度 第11回曽於市子どもフェスタ
～広げよう　友だちの輪　SOO SOO　子どもフェスタ★～

少年の主張発表者

広げよう 友だちの輪 SOO SOO 子どもフェスタ★

曽於市の子どもたちの祭典「第11回曽於市子どもフェスタ」が10月15日（青少年育成の日）、末吉総合センターと末吉総合体育館で開催されました。

今年のテーマは「広げよう　友だちの輪　SOO SOO 子どもフェスタ☆」

子どもフェスタは、子どもたちの健全育成の根底にある「人と人とのふれあい」を通して「人を思いやる心」「互いに協力し合う心」を育て、人間関係の強い絆の結びつきをめざして開催されています。

当日は、午前中に末吉総合センターで少年の主張大会、末吉子ども太鼓の演奏、各青少年事業の体験発表が行われました。

午後からは、末吉総合センターに会場を移して、合計16の体験ブースで「わくわく体験コーナー」が開かれました。参加した約600人の子どもたちは、それぞれ楽しい時間を過ごしていました。

子どもたちの笑顔は、曽於市の大切な宝物です。そんな笑顔が輝く素敵な一日となりました。

テーマ考案者の
岩南小　森（もり）　大和（やまと）さん

司会進行を務めたリーダー研修生

午前の部

末吉子ども太鼓の演奏

発表者の皆さん（小学生７人・中学生３人）

青少年海外派遣事業シアトル研修生の発表

チャレンジ・ザ・日本一「富士登山」研修生の発表

午後の部（わくわく体験コーナー）

100 円カレー大好評！

少年の主張大会

少年の主張大会には、市内の各小中学校の代表10名が出場し、学校や家庭、地域での活動や将来の夢などについて堂々と発表しました。

少年の主張大会　各受賞者一覧

（敬称略）

小学生の部

最優秀賞

「次へのステップ」
有馬　鈴花（高岡小6年）

優秀賞

「食と農を学びたい」
中村　琴美（財部南小5年）

優良賞

「光神小学校の児童として」
山田　勇希（光神小6年）
「障害者と共に生きる」
津曲　麻那（末吉小6年）
「私が輝く場所」
佐伯　優衣（月野小6年）
「ぼくの夢」
小園　琢馬（中谷小5年）
「夢実現に向けて」
福山　彩美（財部小6年）

中学生の部

最優秀賞

「守り続ける」
東迫　風花（末吉中3年）

優秀賞

「私の母は受験生」
上野　すみれ（大隅中1年）
「当たり前のこと」
山之口　大輝（財部中3年）

小学生の部【最優秀賞】

次へのステップ

高岡小学校　六年　有馬鈴花

「大きな学校では、もっとたくさんの意見が聞けるのだろうな。」
高岡小の全校児童は十二名です。
私は、六年間ずっと学年一人で過ごしてきました。今年は五年生二人と複式で学習しています。
学習は先生と一対一に近く、分からないところは、すぐに聞くことができます。
一人なので、教科の単元も自分のペースで進めることもできます。
しかし、友達との意見交かんができません。
国語の学習で報告文を書いたときには、五年生や先生と読み合えますが、同じ学年の友達の作品が読めません。
討論会の時には、私と先生で意見を出し合い、五年生が聞き役をしてくれましたが、結論もすぐに出てしまいました。
「こんな時、同級生がいたらなぁ。」とよく思います。
そこで、大きな学校での生活はどうだろうかと考えてみました。
授業中は、学習内容を理解できないままにして進んでしまうかもしれない。もし、いじめが起きても、周りの人が気付かないかもしれない。ちょっと不安になります。
しかし、友達と一緒に勉強して理解できるようになったり、困っている時には相談にのってくれるかもしれない。
何よりたくさんの意見や考えが聞けて、友達から学べるのではないだろうかなど、プラスの面、マイナスの面を色々と想像しました。
六月末、私は末吉小へ合同学習に行きました。
ザワザワ、キャーキャー、私はそのざわめきに押しつぶされそうになりました。一クラスに高岡小の全校児童の三倍以上の人たちがいて、休み時間には、将棋をする人、冗談を言い合っている人、本を読んでいる人と様々で、私はその中で話しかけてくれる人と話していました。
そのパワーに圧とうされながら参加した国語の授業では、三人グループを作り、さんずいのつく漢字を協力して、できるだけ出し合う学習をしました。みんな積極的に前に出て黒板に書いていきます。
あるグループは、私の見たことも、読むこともできない漢字も書いていました。「すごいっ。知らない漢字を友だちから教えてもらえるなんて。」同級生と一緒に学び合えることに感動しました。
それから二か月。私は五年生の友達と一緒に、曽於市主催の英会話教室に参加しました。
すると、ある女の子から声をかけられました。
「六年二組に来てくれた子だよね。」
その子はにっこりして言いました。私のことをしっかり覚えていてくれたのです。それから、その友達は私が帰ったあとのさみしそうにしていた友達の様子を聞かせてくれました。私は心がほっこりと温かくなりました。
来年、私は中学校に進学します。
ほかの小学校からやってくる友達との出会いが、今からとても楽しみです。
小規模校の高岡小で学んだことと、合同学習で学んだことをプラスにして、次の中学校へ！
ステップをつなげていきます。

中学生の部【最優秀賞】

守り続ける

末吉中学校　三年　東迫風花

友達とは、これから先たくさんの困難に出会うであろう私たちにとって、救いとなってくれる存在です。中学校に入学して三年が過ぎました。小学生のころに比べ、人間関係が多様化し、人とのつながりも深くなってきたように感じます。

この人とのつながりの中には、家族のように必然的にできたものもあれば、友達のように偶然できたものもあります。この友達とのつながりは、どちらかが拒めば簡単に切ることができます。ですが、それはとても悲しいことだと思いませんか。もしみなさんが、今あるつながりの中で、一生大切にしていきたいと思うものがあるのなら、私はそれを守り続ける努力を決して怠ってはならないと思うのです。

私はかつて、友達に縁を切られたことがありました。原因は、私が不用意に発した言葉です。幼稚だった私が放った一言は、その人を深く傷つけました。私は、傷つけたということは理解しました。醜いことをしたのだと。だから、私はすぐに謝りました。しかし、その人は不思議そうな顔をして私にこう言ったのです。

「あなたみたいな人は、知らない。」

「ああ、そうか」と思いました。これが縁を切られるということなんだと。涙が溢れて止まりませんでした。結局、私はそれから転校するまでの二年間、その人と一度も言葉を交わしませんでした。今思うと、私はその人のありがたさに気づいていなかったのだと思います。感謝を伝えることなく縁が切れてしまったのが、一番の後悔です。

友だちの縁というものは、思っているよりもずっともろくて、思いもよらないことで壊れてしまいます。そして、一度壊れたつながりをつなぎ直すのは非常に困難です。だから、自分で築いたつながりは、自分で守っていかなくてはならないのです。友達の存在は決して当たり前のものではありません。あの時の後悔を、私は今でも鮮明に覚えていますし、これから先も一生忘れることはないと思います。最初に言ったように、友達は私たちにとって心の救いとなってくれる存在です。日々の中でも感じませんか。自分の隣でいつも笑ってくれる友のいるありがたさ。喜びと、涙を分かち合うことのできる、かけがえのない友の存在を。そして、想像してください。もし、その友達に、そばにいることを拒絶されたら。

私の母は、私にこう言いました。友達との間で、一番大切なのは信頼関係だと。損得の付き合いではないのだと。

信頼関係の大切さは、今も昔も変わりません。かの有名な戦国大名、伊達政宗という武将には、片倉景綱という従者がいました。景綱は、病気で片眼が飛び出し、人の目を恐れるようになった政宗を見かねて、その眼を切り落とすことを提案しました。彼の提案に乗り、眼を景綱に切り落とさせた政宗は、その後、奥州を統一し、独眼竜という異名を手に入れました。考えてみてください。友達に、眼を切り落として欲しいと言われてできますか。自分の体の一部を友達に委ねることができますか。それが可能なほどの絶対的な信頼関係が、二人にはあったのだと思います。

自分が、信頼を築いていきたいと思える人がいるのは、素敵なことです。その信頼を築くために必要なのは、つながりを守り続けるために必要なのは、日々のちょっとした感謝の気持ちだと、私は思います。あの人がいて良かったと、そんなふうに思えるような友達が、みなさんに一人でもいるのなら、その人とのつながりを、どうか一生を懸けて、大切に守り続けてください。

明日も、あの人のそばで笑い続けることができるように……。

曽於市子どもフェスタ開催について

市子ども会育成連絡協議会
会長　岩水　豊

11回を開催できた子どもフェスタは、多くの方々の協力で開催できたことに感謝いたします。「少年の主張大会」では、10名の児童生徒が将来の夢・家族への感謝の言葉・故郷への思いなど素晴らしい発表をしてくださいました。

多くの人の前で、自分の意見を語ることは、非常に有意義なことと思います。学力向上にもつながるのではと感じました。また、話を聞く側の子どもたちにも大きな影響を与えてくれたと、確信しました。

昼食は、女性部の皆さんによる100円カレーの提供でおいしくいただくことができました。

午後の「わくわく体験コーナー」では、青少年指導員、市子連の理事、青年団、曽於高校、南九州大学、そお文化村など多くの方々の協力で、盛り上がりました。子どもたちの目線で接するスタッフの対応に関心しました。多くの皆さんのご協力ありがとうございました。今後も子どもたちの成長を、家庭、学校、地域の方々、行政などすべての市民の協力で支えていきたいです。